

### Ⅲ 研究のまとめ

#### 1 成果

- ・国語が苦手と考える児童が減り、興味関心をもったと考える児童が増えた。
- ・自分の考えをもてるようになった児童が増えた。
- ・家庭学習で音読をすることによって、文章の大体の内容を事前に把握することができた。
- ・事前に文章の内容を把握しておくことで、登場人物や場面の様子を具体的に想像することができた。
- ・少人数での伝え合い活動（トリオトーク）の回数を積み重ねることで、自分の考えをもてる児童が増えた。
- ・少人数での伝え合い活動（トリオトーク）の時間を十分に確保したことが有効であった。
- ・ワークシートを工夫し活用することで、自分の考えを整理したり、表現したりすることができた。
- ・ワークシートに話型を示したことで、書き方や伝え方に自信をもてるようになった。
- ・具体的な振り返りの視点を示すことで、自分の考えの変容を意識し実感することができた。

#### 2 課題

- ・学習を通して、自分なりの意見をもつことはできるようになったが、考えを文章にしてまとめることが全体的に苦手な傾向にある。
- ・伝え合い活動の際、定型文などの形があると話すことはできるが、定型文、型がないとスムーズに話し合い活動が進まない傾向にある。
- ・児童の実態に応じて、読み取りの時間を確保し手だてを講じる必要がある。
- ・教師側が、児童に身に付けさせたい力を付けるために、どのような学習のゴールを設定するかの精査が必要である。
- ・伝えることについては、タブレット端末で伝えるのではなく、実際の言葉で伝える機会を増やしていく必要がある。
- ・皆が同じワークシートを一斉に使用するのではなく、児童の実態に応じて個に対応した学び方を工夫していく必要がある。